

# 貸借対照表

(2024年3月31日 現在)

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
流動資産		流動負債	
現金及び預金	1,491	買掛金	826
売掛金	1,436	未払金	307
商品及び製品	267	前受金	266
仕掛品	3,003	預り金	0
原材料及び貯蔵品	3	未払法人税等	226
未収入金	4	未払費用	40
その他	126	流動負債合計	1,667
流動資産合計	6,334	固定負債	
固定資産		長期未払金	6
有形固定資産		固定負債合計	6
建物(純額)	263	負債合計	1,674
機械及び装置(純額)	284	純資産の部	
工具、器具及び備品(純額)	34	株主資本	
建設仮勘定	153	資本金	100
有形固定資産合計	736	資本準備金	5,756
無形固定資産		その他資本剰余金	350
ソフトウェア	55	資本剰余金合計	6,106
その他	3	利益剰余金	
無形固定資産合計	58	その他利益剰余金	3,198
投資その他の資産		繰越利益剰余金	△ 48
投資有価証券	0	利益剰余金合計	3,149
関係会社出資金	52	株主資本合計	9,355
長期未収入金	105	純資産合計	9,355
長期貸付金	2,600		
繰延税金資産(固定)	1,055		
その他	86		
投資その他の資産合計	3,899		
固定資産合計	4,694		
資産合計	11,029	負債純資産勘定合計	11,029

## 個別注記表

### 【重要な会計方針に係る事項に関する注記】

#### 1. 資産の評価基準及び評価方法

##### (1) 有価証券

- 子会社株式及び関連会社株式……………移動平均法による原価法
- その他有価証券
- ・市場価格のない株式等……………移動平均法による原価法

##### (2) たな卸資産

- 通常の販売目的で保有するたな卸資産
  - ・商品及び製品……………平均法による原価法
  - ・仕掛品……………平均法による原価法
  - ・原材料及び貯蔵品……………先入先出法による原価法
- なお、収益性の低下したたな卸資産については、帳簿価額を切下げております。

#### 2. 固定資産の減価償却の方法

##### (1) 有形固定資産(リース資産を除く)

- 定額法で計算しております。  
耐用年数についてはビジネスごとに実態に応じた回収期間を反映し、次のとおり見積もっております。
- ・建物、構築物……………3年～18年
  - ・機械及び装置……………2年～4年
  - ・工具、器具及び備品……………2年～15年

##### (2) 無形固定資産(リース資産を除く)

- 定額法で計算しております。  
このうち、自社利用のソフトウェアについては社内における利用可能期間(5年以内)に基づく定額法を採用しております。

#### 3. 重要な収益及び費用の計上基準

- 製品販売に係る収益は、主に半導体メモリ製品を代理店又は直接ユーザーへ販売する取引によるものであり、顧客との販売契約により、受注した製品を引き渡す義務を負っております。当該履行義務は製品を引き渡す一時点において顧客が当該製品に対する支配を獲得して充足されると判断し、引渡時点で収益を認識しております。

### 【当期純損益金額】

当期純損失      △48,633,270円